

プログラム番号	07017
---------	-------

平成19年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

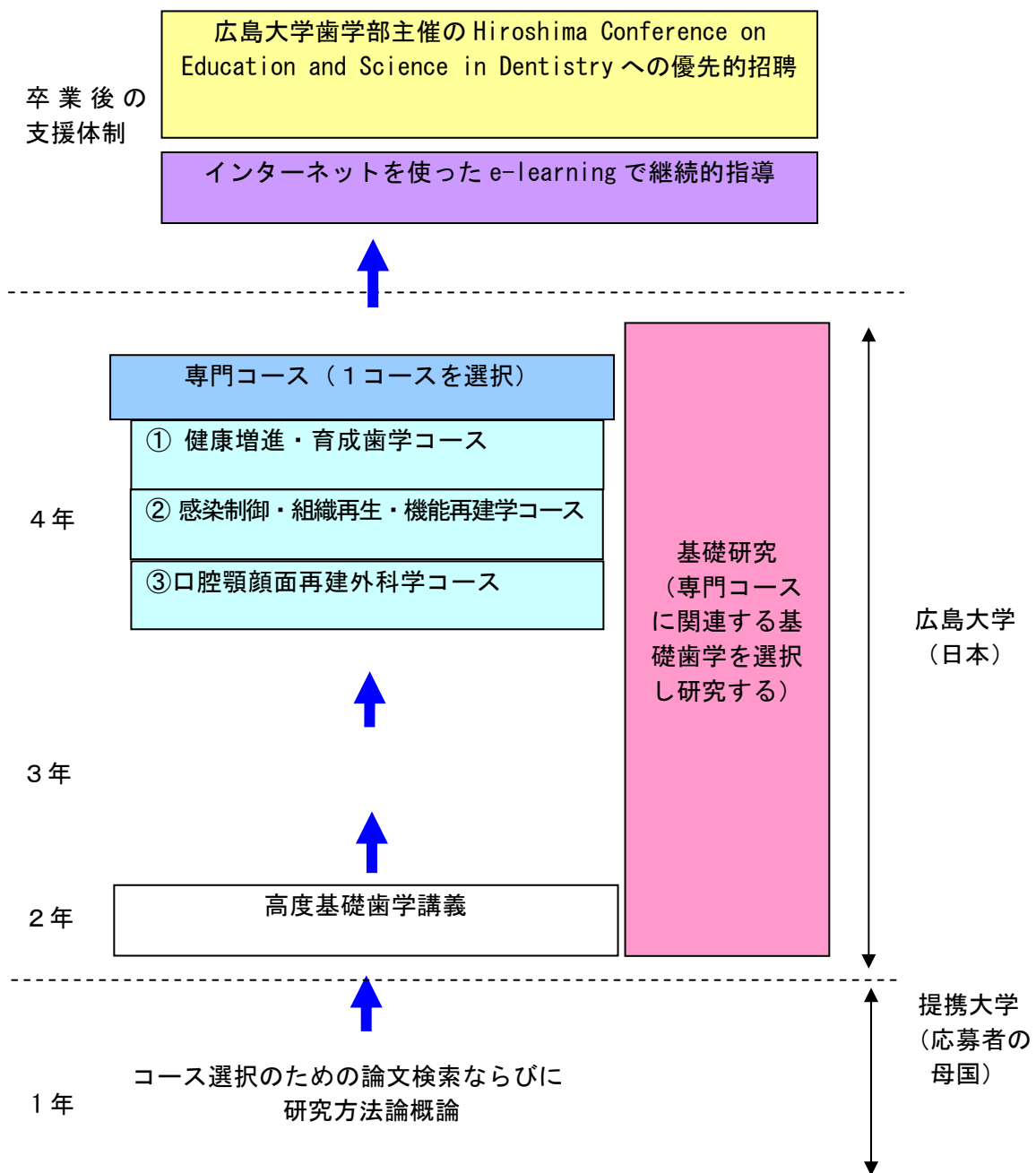
①大学名 研究科名	広島大学 医歯薬学総合研究科		
②学長名	浅原 利正		
③所在地	〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	国際部留学交流グループ・留学交流課長	
	担当者氏名	吉住 誠司	e-mailアドレス ryugaku-group@office.hiroshima-u.ac.jp
	電話・FAX番号	Tel 082-424-6181 fax 082-424-6179	
⑤ホームページ URL	http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/kokusai/index.html		
⑥大学院在学留学生数	503人(うち、国費留学生 162人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	東南アジア歯科医療高度化推進ツィニングプログラム
②プログラムの形態	博士(ツィニング) (3年間)
③交流形態・受入体制	ツィニング
④実施研究科・専攻	医歯薬学総合研究科創生医科学専攻
	(所在地) 広島市南区霞一丁目2番3号
⑤連携大学・研究科・専攻名	医歯薬学総合研究科展開医科学専攻
⑥受入れ学生数	6人(うち研究留学生優先配置人数: 3人) (うち日本人学生数: 0人)
⑦担当教員数	合計 92人(うち専任: 92人、兼任: 0人、非常勤: 0人)
⑧研究科長(代表者)名	所属部局・職名 医歯薬学総合研究科 教授
	研究科長名 岡本 哲治

【3. プログラムの内容】

プログラムには、高度先進的な診断・治療技術に関するコースとして、①健康増進・育成歯学コース、②感染制御・組織再生・機能再建歯学コース、③口腔顎顔面再建外科学コースの3つの専門コースを設ける。



講義はいずれも英語で行う。

図に示すように、プログラム1年目は、前述のごとく各提携校において2年目以降のコース選択と研究テーマを決定するための情報リテラシーの習得や論文検索ならびに研究を実施するための方法論について研修する。プログラム2年目からは、学生は来日し、広島大学医歯薬学総合研究科での研究を開始する。3つの専門コースから一つを選択し、関連する基礎研究実習を開始するとともに、共通科目として高度基礎歯学を受講し、各コースに共通する基礎歯科医学の知識ならびに技術を習得する。プログラム3年目には専門基礎科目を開講する。この科目はオムニバス形式として、全ての臨床分野について共通する基本的な事項を習得する。プログラム4年目には、各専門コースに特化した演習、実習を、マネキンやVideo on Demand形式の施設を最大限に利用しながら実施する。さらに、資格を有した臨床教員とともに実際の患者の治療に間接的に携わることによって診断・治療技術の高度化を図る。このように、臨床や基礎歯学に偏ることなく両者から関連する領域を選

択し学ぶことによって、母国に帰った後も、臨床医としてあるいは基礎歯学を背景とした教育者・研究者として母国の教育水準の向上に寄与できる人材育成を目指す。なお、共通する高度基礎歯学については創生医科学専攻の歯学系教員が、先進臨床歯学については展開医科学専攻の歯学系教員が主として指導に当たる。

学生の募集はマラヤ大学歯学部（マレーシア）、エアランガ大学歯学部（インドネシア）、ホーチミン健康大学歯学部（ベトナム）の3校から行う。これらの大学からの推薦状、大学在学中の成績（GPAなどの指標による評価を含む）、英語による小論文形式の志望理由書、英語の語学試験（TOEFL、TOEICなど）の成績に加えて、**internet interview**（英語による口頭試問）や提携校の交流を兼ねて広島大学の教員が提携校に赴いた際に面接評価することによって、本プログラムにふさわしい優秀な人材を選考する。受入学生数については、各コースに2名（2名×3コース＝計6名）を受け入れ、そのうち1名を国費外国人留学生、もう1名を私費外国人留学生となるよう計画している。

本プログラムを修了した留学生は、それぞれの母国において指導的歯科医師、歯科医学分野の研究者・教育者になり、母国の次世代の歯科医学、歯科医療の指導者を育成する。それぞれの母国に本プログラム修了者の同窓会に類似した組織を構築し、修了後も**e-learning system**を活用する等して広島大学との密接な関係を継続する。また、**Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry**（2年ごとに開催予定）に同プログラム修了者を優先的に招待し、母国での活動の発表や同**conference**参加者からの評価の機会を設ける。